

# 6年「Unit 7 My Best Memory. ー思い出サイコロトークをしよう!ー」

## 1 単元目標

6年間の小学校生活を振り返り、英語でその思い出を伝え合うことができる。

## 2 該当する学習指導要領による領域目標

- ・聞くこと イ
- ・話すこと[やり取り] イ
- ・書くこと ア

## 3 授業のねらいと概要

○単元計画（8時間）と評価

時	《めあて》・学習活動【総括的評価（観点）】※英語表記は習得させたい表現	帯グラフは授業でのMDCIの割合 吹き出しは形成的評価
<b>モチベーション (Motivation [M]): 学習者を「その気にさせる」</b>		
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のめあて「思い出サイコロトークをしよう」を知る。</li> <li>《6年間の生活を振り返り、英語で伝えるには何が必要かを考えよう》</li> <li>・英語で思い出を伝え合い、できないことや分からないことを明らかにする。</li> <li>・自分たちで課題を見つけ、単元の見通しをもつ。</li> </ul>	<p>思い出サイコロトークを英語で楽しくするには、何が必要かを考えている。(思・判・表)</p>
<b>デモンストレーション (Demonstration [D]): 学習者に学びの道筋を示す</b>		
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>《小学校生活の思い出はどのように伝えればよいか考えよう》</li> <li>・自分から発信するときの伝え方を考える。</li> <li>・「My best memory is ～.」「We went to ～.」の表現の仕方を知る。</li> </ul>	<p>「My best memory is ～」「We went to ～」およびその関連語句などを用いて、自分から発信して伝えていく技能を身に付けている。(技)</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>《会話を広げたり深めたりするには、どのように質問し答えたらよいか考えよう》</li> <li>・今までの学習で、どのような質問表現をしてきたかを振り返り、友達の話を広げたり、深めたりできる表現を見付ける。</li> <li>What did you enjoy? I enjoyed ～.など</li> </ul>	<p>質問を考えている。(思・判・表)</p> <p>「I enjoyed ～.」およびその関連語句などについて、理解している。(知)</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>《もっと会話を広げたり深めたりする質問の仕方がないか考えよう》</li> <li>・友達の話を広げたり、深めたりできる表現がさらにないか見付ける。</li> <li>How was it? It was fun.など</li> </ul>	<p>質問をさらに考えている。(思・判・表)</p>
<b>コミュニケーション (Communication [C]): 学習者を課題解決に導く</b>		
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>《サイコロトークのやり方を知ろう》</li> <li>・みんなで語り合いたいトピックを決める。(サイコロの目になる)</li> <li>・トピックについて、質問や反応をしながら伝え合う。</li> </ul>	<p>トピックについて、自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。(主)</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>《クラスの友達と思い出サイコロトークをやろう》</li> <li>・同じクラスの友達とサイコロトークを楽しむ。</li> <li>・上手く表現できなかったことを共有し、表現の仕方を知る。</li> </ul>	
7 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>《学年の友達と思い出サイコロトークをやろう》</li> <li>・学年の友達とサイコロトークを楽しむ。</li> <li>・多くの友達と思い出を分かち合うことで、様々な視点から6年間の振り返る。</li> </ul>	<p>【自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、小学校生活の思い出などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしている。(思・判・表)】</p>
<b>イノベーション (Innovation [I]): 学習者が新たな気づきを自ら実感する</b>		
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>《思い出のアルバムを作ろう》</li> <li>・一番心に残っている思い出を書く。</li> <li>・交流できなかった友達の思い出も、読むことで分かち合う。</li> </ul>	<p>ワークシートに思い出を書くことができる。(知・技)</p>

○単元における「児童が主体的に取り組む」ための手だて

手だて①：既習事項の活用

→今までの学習を振り返り、発展させて使うことで、自分の成長を実感させる。

手だて②：様々な内容を話したり聞いたりできる場面設定の工夫

→サイコロトークにすることで、話す内容の偏りを減らす  
→ドキドキワクワクする設定を入れることで、会話を活性化させる。

子どもたちがすすんで伝えたいような目的、場面、状況を設定する。

### 主体的に取り組む活動

様々な表現や言葉を用い、他者意識をもちながら、自分の考えや気持ちを伝え合う子ども

Goal: 様々なことがあった6年間で、自分の思い出を伝えたり友達に質問したりして、深めながら振り返ることができる。

# ～ 授業レシピ (第7時) ～

6年1組 33名 (男子20名 女子13名)  
6年2組 33名 (男子20名 女子13名)  
指導者 芳賀 晶子 (T1) 大沢 卓美 (T2)

〈材料〉サイコロトーク用のサイコロ、お助け表現カード (伝える編、質問編)、席替え用のくじ引き

本時のねらい：今まで学習してきた表現を使い、小学校生活の思い出を伝えたり、質問をして会話を広げたり、深めたりする。

【指導者の活動 (○T1 ●T2) と使用英語 ☆★児童の活動 ◆指導上の留意点 【 】 総括的評価】

## 1 あいさつ・学習への導入 (3分)

- ・Greeting ♪Song 今まで歌ってきた歌からくじ引きで選ぶ。
- ◆始め方を同じにすることで、安心して英語学習に切り替えさせていく。

○Hello, everyone!  
How is the weather today?  
●What day is it today?  
What date is it today?  
○Let's sing a song!

## 2 Activity (40分)

**モチベーション (Motivation)：学習者を「その気にさせる」**

- ・Today's Goal 《学年の友達と思い出サイコロトークをしよう》

**デモンストレーション (Demonstration)：学習者に学びの道筋を示す**

- ・T1とT2でサイコロトークのデモンストレーションをする。  
(やり方の確認)
- ◆困ったときにはお助け表現カードがあることを確認する。

○What is your best memory?  
●My best memory is ~.  
I [went to/saw/played] ~.  
○What did you enjoy?  
●I enjoyed ~.  
○How was it?  
●It was ~.

**コミュニケーション (Communication)：学習者を課題解決に導く**

- ・第1回のサイコロトーク (4人グループとなり、出た目に書かれたトピックについての思い出を全員が話す。)
- ・上手く伝えられなかったことや困ったことを共有し、どのように表現すればよいかを考える。
- ・第2回、第3回と席替え用のくじを引き、新しい4人グループで第1回と同じ要領で行う。
- ◆困ったらお助け表現カードを使う。
- ◆人数のバランスよくバラバラになるようにくじを引き、指定された席に移動する。

☆What is your best memory?  
★My best memory is ~.  
I [went to/saw/played] ~.  
☆What did you enjoy?  
★I enjoyed ~.  
☆How was it?  
★It was ~.

**イノベーション (Innovation)：学習者が新たな気づきを自ら実感する**

- ・今日の学習で使うことのできた表現を振り返り成長した自分を確認する。

【自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、小学校生活の思い出などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしている。(思・判・表)】

## 3 Greeting (2分)

○That's all for today.